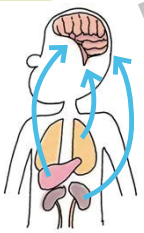
患者・家族へのせん妄説明パンフレット（終末期）

つじつまが合わず、いつもと違う行動をとるとき

このような状態をせん妄といいます

どうしてこんなことがおこるのでしょうか？

酸素が少なくなったり、
肝臓や腎臓の働きが悪くなって
有毒な物質が排泄されなくなるので、
脳が眠るような状態になるからです。



3割の方は一時期
「興奮状態」になります。

興奮が激しいときは
お薬を使うことで
ウトウトしてきます。

7割の方は自然とウトウト
されるようになります。

●がんが進行した方の70％以上の方におこります。

＊「くすり」や「麻薬」が原因であることは多くありません。
＊体の痛みが強すぎて興奮状態になるのではありません。
＊患者さんの心が弱かったり、性格が原因ではありません。
＊精神病や認知症（痴呆）や「気がおかしくなった」のではありません。

ご家族もつらいお気持ちになられると思います

例えばこのようなお気持ちを感じる方もいらっしゃいます。

ひとりでみているのが心配…

代わりにいろいろな
ことを決めないと
いけないことが負担…

十分なことをして
あげられない

他の人に迷惑を
かけてしまう…

こんなつらそうなら
早く楽にしてあげたい…

もうクタクタで
休みたい！

どうしていいのか
分からない

**このような
お気持ちは
当然のことです。**

ひとりで考えこまずに、そばにいる誰かにお気持ちをお話しください。
医師や看護師にいつでも相談してください。

©日本サイコオンコロジー学会／日本がんサポーティブケア学会，禁無断転載，発行：金原出版

12-4
せん妄2

ご家族はこんなふうにしてあげてください

何か話しているがよく分からない

●どのようなことを話そうとしているのか想像してみてください。本当にあった昔のこと、今気がかりになっていることやしておきたいこと、あるいは口の渇きやトイレに行きたいと伝えようとしていることもあります。

●時間や場所が分かりにくくなることは多いですが、ご家族のことが分からなくなることはめったにありません。

●つじつまがあわない時は、患者さんの言うことを否定せずにつきあい、安心できるような会話をしてください。「間違いを正す」ことは患者さんを傷つけることがあります。

そばで何をしていいか分からない…
話しができないことがつらい…

●普段の通りに声をかけたり、静かに足をマッサージしたり、ただ部屋の中でご家族でお話されている声が聞こえるだけでも患者さんはホッとされることが多いです。

疲れてクタクタになってしまった…

●まず、あなた自身が休めるような工夫を看護師とご相談ください。
他のご家族にも協力してもらいましょう。看護師もお手伝いします。

●日中患者さんが休まれているときは、それに合わせてお休みください。

興奮状態になるとどうしていいのか…

●すぐに看護師をお呼びください。

●看護師は口の渇きや排泄などの不快なことがないかを確認して対応します。

●何かお薬が必要か相談します。
お薬には、ウトウトできるくらいの弱いものから、完全に眠れるものまで何段階かありますので、ご意向と状態をみて決めます。

自分が決めることが負担だ…

●「患者さんが以前に望まれていたこと」でご存知のことをお教えください。
ご家族に全て決めていただく必要はありません。
いっしょに相談して一番よいと思われることをしていきましょう。

〔緩和ケアプログラムによる地域介入研究班．「緩和ケア普及のための地域プロジェクト：OPTIM study（厚生労働科学研究　がん対策のための戦略研究）」．看取りのパンフレット．http://gankanwa.umin.jp/pdf/mitori02.pdf（2022年４月閲覧）より引用〕

©日本サイコオンコロジー学会／日本がんサポーティブケア学会，禁無断転載，発行：金原出版